

サケの話にため息

3月4日に横芝小学校の5年生を対象とした珍しいサケの話がありました。

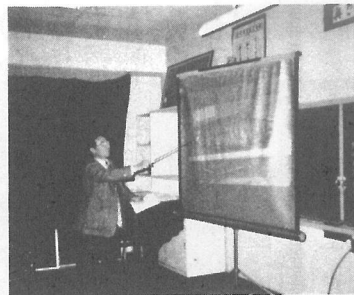
これは、22日に予定されているサケの放流の前に、子供たちに予備知識をつけてもらおうと県の水産部が計画したものです。

当日は、内水面水産試験場の細谷資源研究室長がサケの捕獲から放流に至る一連の流れをスライドを交えて説明。

採卵からふ化、放流するまでの管理の難しさや苦勞話に、子供たちの間からため息がも

れていました。

放流に際しても、早く大きくなって帰ってきてという思いが一段と強くなるのではないのでしょうか。



町民スキー教室

3月11・12日

石打丸山スキー場



3月22日、栗山川サケ採取場でサケの稚魚の放流が行われました。この日はあいにくの荒天で小学生の手による放流は中止。内水面水産試験場職員など関係者により100万匹の稚魚が放流されました。

婦人バレー ボール大会

2月21日、婦人バレーボール大会が海洋センター体育館で行われました。

参加8チームによる予選リーグ、決勝トーナメントが行われ、結果は次のとおりです。
1位 横芝クラブ
2位 横芝レディース
3位 大総ママさん

文芸

俳句

曳く影や女四十路の春裕

宇井 芝童

老いゆえにひそかなよろこび露の臺

海保 きみ

美術展出で来し余情春の雨

勝又やすのり

北窓を開けて小春の風もらう

鈴木 草庵

昏き庭一樹の梅の白白と

鈴木 南知

春拾店主は粹に着こなせる

津田 若菜

句稿に手いくたび触れて暖かし

戸村 静華

龍の玉捨てる茶殺も二人きり

成田栄三郎

冬ざれにためらひもせて露の臺

行方はじめ

独り居の戻りて点けし余寒の灯

(選者)土屋 栗水

短歌

おそ時のほうれん草も春となり
日ごとみどりの彩深めゆく

秋葉 とく

自転車の前の荷籠の水仙の
香りと共に家路に急ぐ

池田 春江

吾子三人猫も三匹夕餉すみ
それぞれの位置にくつろぎてをり

大場 和可

春一番駅の広場を黄ばめつつ
砂の嵐の巻きてすぎゆく

海保 きみ

下枝にも伝はりてゆく風の波
楽思はする高音低音は

斉藤 佳子

入院の吾を見舞ふと来し夫の
太き両手につかまりて起つ

斉藤 幸子

形見なる虫に喰はれしメリンスを
解けばかすか母の匂ひす

佐瀬 初音

手づくりのケーキを友に届けむと
自転車とばす木枯の中

西山満里子

芸の道かくも一途に生くべしと
宇野重吉は教へ逝きたり

萩原 信一

おち達ひて吾子とひと日を過す日の
各駅停車の走りもどかし

(選者)斉藤つね子

